



2017-2018年度

クラブ運営方針 ▶ 「温故創新」

広島北ロータリークラブ週報

ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

Vol. 1531
2017年11月30日発行 Club of Hiroshima North



広島北ロータリークラブ ■会長 東 正治 ■幹事 越智 健剛

事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/

設立 1969年4月24日 承認 1969年6月28日
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

本日の例会 2017年11月30日(木) 第2336回

ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」
来客紹介 親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告
同好会報告
卓話時間
『ロータリー財団の歴史と現状を学ぶ』
財団プログラム委員長 山内 盛利 会員

前回の例会 2017年11月16日(木) 第2335回

ロータリーソング 「われらの生業」
来客紹介 親睦委員会
連続出席表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
卓話時間
『SAAとニコニコの歴史』
SAA長 畑 秀樹 会員
ニコニコ委員長 本田 善昭 会員

連続出席表彰



左から、11年 桑村会員、28年 森嶋会員・榎殿会員、13年 東会員(欠席 22年 塩本(千)会員) おめでとうございます。

会長時間 会長 東 正治

今週の会長時間は、広川会員が元気になって帰ってこられたので、1995年-96年度、創立27年、広川年度の話を見せて頂きます。1995年は阪神大震災や地下鉄サリン事件がおこった年であり、会長・広川会員、副会長は日域さん、幹事は加藤省吾さん、副幹事は佐々木玄造さん・中山正紀さんでした。執行部の方は会長以外全員退会されております。

年度当初の会員数は94人、会長方針は「善意の和と活力でロータリーを楽しもう」でした。この年度に入会し現在在籍している会員は庄子会員と中山会員の2名です。

この年度は、職場訪問例会として、NHK広島放送局や千田地区下水道工事現場に訪問しております。また、悠々タウン江波に訪問し、施設福祉サービス・在宅福祉サービスについての研修会が開かれて多くの会員が参加されたそうです。

社会奉仕事業としましては、被爆50年ということで、平和の尊さを考え、被爆と戦争体験を次世代に引き継ぐ必要があると考え、8月6日に「追悼供茶会」を行いました。

「追悼供茶会」は当クラブだけでなく、広く地区内に呼びかけて多くの皆様に参加いただき、外国人も含め500名を超える方にお茶を提供したそうです。

それに先立つ7月22日には平和公園内にある平和の池の清掃活動に家族を含め多くの会員が参加され清掃活動を行ったそうです。その年度の親睦行事では「SLで行く萩・津和野の旅」という家族会が行われています。親睦委員長は泉会員でした。会員や家族を含め95名の参加で、萩において日本料理を堪能した後に、SLに1時間半萩、津和野間乗車したそうです。

また、この年度は会長方針から親睦を深めることを目的に第1例会のプログラムを全てフリーキングにしたそうです。

広川会員がこれからも益々お元気で活躍されることを祈念して、本日の会長時間を終わります。



茨城県・土浦RC
鶴田 一郎様

クラブより記念品をお贈りいたしました。
またのご来広をお待ちしております。

幹事報告 幹事 越智 健剛

《理事会報告》

*持ち回り理事会報告(後日、HPIに議事録をUPLします)

《お知らせ》

*次週11月23日(木)は祝日の為、休会です。次回例会は11月30日(木)となります。

《BOX 配布物》

*会員名簿追加貼りシール

*平和公園樹木いきいきボランティア参加者募集案内

委員会報告

親睦委員会 樹野副委員長

*12月21日(木)に開催する「クリスマス家族会」の案内をお送りしますので、多数の方のご出席をお願いいたします。

社会奉仕委員会 坪内委員長

*本日、BOX にお配りしていますが、12月9日(土)に平和公園で行われる「平和公園樹木いきいきボランティア」に参加をします。

この事業は東会長より全員参加のできる奉仕活動を検討して欲しいという方針を受け、企画したものです。是非、多数の方にご参加をお願いしたいと思います。

財団プログラム委員会 山内委員長

*次週の例会の食事は100万ドルの食事になり、差額をホリオ用途指定寄付とすることに決まりました。また、当日のニコニコも全てホリオ用途指定寄付となります。

青少年奉仕委員会 合田委員長

*11月11日(土)に柳井市で開催されたRYLAへの参加報告



合田委員長と濱本会員の事業所の職員2名の方が参加をされました。

●●●●●●●●●● 同好会報告 ●●●●●●●●●●

ゴルフ同好会 秋山会員

*11月18日・19日 福岡遠征の最終案内

●●●●●●●●●● ニコニコ箱の時間 ●●●●●●●●●●

ニコニコ委員会 本田善昭委員長

★ご来客出宝

土浦RC 鶴田一郎様

「毎回1,000円をニコニコ」に行っています。今回はたまたま例会があるのを知って、メイクアップしました。広島は初めて来ました。

★自主出宝

東会員・栗屋会員・越智会員・岡田(昌)会員・金井会員

茨城県・土浦RCの鶴田様、遠来よりようこそお越し下さいました。

また、本日の卓話「SAAとニコニコの歴史」楽しみにしています。

正副S.A.A.(畑会員・藤原会員・山下(正)会員)

本日、卓話の時間にS.A.A.としてお話をさせていただきます。宜しくお願いします。

ニコニコ委員会(下前常任委員長・濱本副常任委員長・本田委員長・渡部副委員長・山田委員・藤田委員・岡田(清)委員・河村委員・武部委員) 本日のプログラムではSAAとニコニコ委員会合同で「SAAとニコニコの歴史」について卓話のお時間を頂きました。宜しくお願い致します。

樽本会員 先週は誕生日の祝いをして頂き、本当にありがとうございました。48歳年男益々精進しますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

杉町会員 家内の誕生日に美しい花をクラブより頂きました。家内も大変喜んでおりました。ありがとうございました。

金井会員 先日のひろしま国際平和マラソンですが、体調が悪く走る

ことが出来ませんでした。来年はコンディションを整えて走りたいです。
桑村会員 連続主席11年目を迎える事ができました。これからも頑張っていきたいと思っています。

松田会員 本日、所用により早退致します。誠にすみません！！

大之本会員 本日、早退致します。誠に申し訳ありません。

《職業ニコニコ》

池上会員 ◆ 当社(鹿島建設)の関係で恐縮ですが、この1ヶ月で2件の大型工事の受注・内定を頂きました。感謝を込めて、今後の精進をお約束してニコニコさせていただきます。ありがとうございました。

当日計 25,000円 累計 782,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

●●●●●●●●●● 卓話時間 ●●●●●●●●●●

『S.A.A.とニコニコの歴史』

S.A.A.長 畑 秀樹 会員



1. はじめに

本日は、「S.A.A.とニコニコの歴史について」というプログラムのタイトルがついていますが、私がこのロータリークラブに入会して初めて委員会の組織図を見た時に、何をやる委員会なのか、その名称からピンとこなかったのが「ニコニコ委員会」と「S.A.A.」でした。

例えば「親睦委員会」は会員の親睦を図るための事業を企画・運営するのだろう。「社会奉仕委員会」であれば社会に奉仕するための事業を行うのだろう。

では、この「ニコニコ委員会」と「S.A.A.」はいったい何をやる委員会なのか？

他の奉仕団体や異業種交流会、また経営者の集まりなどには無いような組織だなあと感じましたが、今思えば、ある意味、もっともロータリークラブらしいと申しますか、ロータリークラブ独特の委員会であり、組織であると思っています。

2. S.A.A.の使命・立場・役割

S.A.A.の使命は、「秩序正しく、品位あり、しかも能率的なロータリークラブの会合を維持し、クラブの訪問者及び来賓に良い印象を与えるようにすること」とされており、具体的には、

- ・会場の雰囲気や絶えず和やかに保つこと
- ・不測の事態に即応できるよう絶えず心がけ、臨機応変に処置がとれる態勢を持つこと
- ・会議や例会の進捗状況を見守り、また、会議の時間のみに拘泥(こうでい)してプログラムを途中で切るようなことのないように努めること

に配慮し、ともすれば、形式主義に陥り、堅苦しくなりがちな会議例会をそうならないよう、詳細な配慮をはらう事が使命とされています。

S.A.A.の立場は、理事会の構成メンバーではあるが、理事ではなく、広い意味での役員という事になるのでしょうか。したがって、理事会には出席しますが、理事会での議決権はありません。広島北ロータリークラブ細則「第4条 役員の仕事」によれば、その第7節に「S.A.A.長は、通常その職務に付随する事項及びその他会長または理事会によって定められる事項を行うことを任務とする。」と規定されています。

しかし、これでは良く分からず、実際のS.A.A.の役割は、一言で言えば諸会議での秩序を維持するための時間管理を含めた、

「会場監督」であるといえます。

例会における大まかな食事内容(例えば、幕の内・和食・洋食・中華など)や毎回の例会時に斉唱するローターソングを決めるなど例会の運営要領について理事会に素案を提出するのもS.A.A.の役割です。

3. S.A.A.とニコニコ委員会

本日の卓話テーマは、「S.A.A.とニコニコの歴史について」ということですが、このS.A.A.とニコニコ委員会とは以前から密接な関係があり、それは広島北RCの歴史に遡ります。

後ほどニコニコ委員会が担当される部分でも話があるかと思いますが、本年度の会長方針は「温故創新」であるので、まずは「故きを温め」てみると、そもそもS.A.A.は、1969年の当クラブ創立以来から、2005-2006年度までは「SAA委員会」として存在し、その職務内容は現在のS.A.A.と概ね同様なものでした。

ただし、大きな違いは、ニコニコ箱の運営もこの「SAA委員会」が担当しており、これは他クラブも同様でした。

ところが、今から10年余り前の2006-2007年度、初めて「ニコニコ委員会」が単独委員会として設置され、ニコニコ箱の運営はS.A.A.の手から離れるとともにS.A.A.は委員会ではなく、今の形になりました。

きっかけは、当クラブからガバナーを輩出するにあたり、その当時に国際ローターが推奨していた「クラブリーダーシッププラン」の実施を当クラブがいち早く導入する必要があったことからでした。

因みに、「クラブリーダーシッププラン」とは、クラブの運営を容易にすることを目的とした新規の管理構成という事のようにです。

また、もともとS.A.A.の職務が疎かになる傾向もあったため、単独にするほうが、よりそれぞれの職務を遂行することができるのではないかという事でした。

例えば、私語を注意する立場であるS.A.A.がニコニコの原稿を確認したり、お金を数えたりすることに集中するあまり、逆にS.A.A.の私語が増えたり、他の会員の私語を注意する余裕がなくなるなどと言ったことでした。

もう少し歴史を辿ってみますと、2007-2008年度と2008-2009年度の2年間は、プログラム委員会とニコニコ委員会を統合した「例会運営委員会」が新設されましたが、やはりこの2つを兼務するのは難しいとの声が多く、結果的に2009-2010年度から今日まで、再び現在の独立した「ニコニコ委員会」となりました。

本年度の在広ロータークラブを見てみると、ニコニコ箱の運営が独立した委員会の事業として組織されているのは西南ロータークラブの「スマイル委員会」くらいでした。

ところで、現在でも時折、「早退させていただきますので、ニコニコ箱に出宝します。」というのを見掛けますが、これは祝い事でも無いのに何故?と思われる方もおられるのではないかと思います。

そもそも中途退席(早退)するには定款上では理事会の許可を必要とします。しかし現実的には幹事はその許可を出す訳ですが、しかしながら、幹事は例会進行で多忙なため、その業務をS.A.A.が代行しており、当時はS.A.A.がニコニコ箱の運営も担当していたことから、「早退を許可しますので、その代わりにニコニコ箱にご協力をお願いします。」という形の名残であり、それが今日まで受け継がれているようです。

なお、余談になりますが、例会においてはその全体時間の6割は参加していないと出席したという扱いにはならないため、毎週の例会においてはその所要時間の6割、つまり始まってから36分間は経過していないと出席したことにはならないというのが定款上の決まりのようです。

4. おわりに

以上のように、もともとはニコニコ箱の運営をS.A.A.が担当していたということから、お話をさせて頂きました。

冒頭に、ニコニコ委員会とS.A.A.はとてもロータークラブらしい委員会であると申しましたが、「奉仕と友情」を大きな目的と掲げるロータークラブとしては、奉仕活動の原資となる資金を会員から自主的に協力して頂くのがニコニコ委員会であり、友情を育むためにも楽しいだけの馴れ合いの例会ではなく、社会人として最低限度の規律を守った、きちっとした例会を進行することに努めるのがS.A.A.の役割であると言えます。

本年度もS.A.A.は、「例会の秩序維持」を事業計画のひとつに掲げておりますので、例会中の私語や携帯電話の着信音などについては、時には口うるさいと思われる事もあろうかと思いますが、これからも宜しく願いいたします。

それでは、マイクをニコニコ委員会にパトタッチいたします。ありがとうございました。



ニコニコ委員長 本田善昭会員

ニコニコの意義などについてご説明させていただきます。

先日発刊された「ローター情報ハンドブック2017版」によると、ニコニコ箱についてこのように書かれて

います。

「例会場で会員が自由意志で善意の寄付金を入れる箱。起源は東京説、大阪説と定かではないがローター特有のもので、会員、家族、事業など慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、慶びを分かち合い、また失敗したり、迷惑をかけた時もユーモアたっぷりに苦笑いし、例会を賑わせ親睦を増進し、集まったお金は奉仕活動資金に使用される。」とあります。別名として、他クラブではスマイルボックスと呼ばれているところも多くあります。

またその他の文献の例では、スマイルボックスは、シゴRCから始まりました。シゴRCには公共問題担当委員会というのがあり、社会の公共問題を解決する事業を企画立案する委員会でした。公共問題担当委員会は理事会の承認を得て、クラブ名で行う団体奉仕の社会奉仕事業を決定すると、予算を立てて通常会費の他に会員から強制的に資金を取り立てていました。しかし、自分には関心のないことで徴収されるのはあまり面白くなく、あんな事業をするのならば、自分の方にはもう少しましな事業があるのにと考える会員が出てきました。

1919年、ある青年がシゴの町で残虐な殺人事件を起こしました。大変な社会的衝撃を与えたので、健全な青少年を育成するために100万ドルの募金をしようじゃないかと公共問題担当委員会 が提唱しました。

ところがシゴローターアンはこれに抵抗しました。「ローター運動の原点に立ち戻って、ローター運動の原理はこうだから、その原理の必然として、これこれの金を出さなければならない」ということが分かれば出すこともいとわない。しかし、公共問題担当委員会で勝手にいろいろプログラムを決めて、会費に準ずるような形で金ばかり取られるのは承服できない、というものでした。

ローターの第一義は一業一会員制をもって選ばれた良質な職業人が、週一回の例会に集まることです。他の良質な職業人と親睦のうちに切磋琢磨、自己研鑽、奉仕の心を育て、その奉仕の心で、世のため人のために行動することではないのか。お金をいくら出さなければローターアンではないというようなことは、ローター運動の中にはないのではないのか。会員が公共問題担当委員会の計画に対して、金を出さなければならない義務はないのだ、という結論に達しました。

そこで例会場の四隅に箱を置き、記念すべきことがあったら、その箱にお金を入れてもらうことにしました。しかし、入れてもよし、入れなくてもよし。入れた者は入れたからといって誇ってはならない。入れない者は恥ずかしいと思てはいけない。こういうルールができたのであります。これがスマイルボックスの起こりで、1924年のことでもあります。

ちなみに日本で最初にスマイルボックスを設置したのは、大阪RCで、1936年・昭和11年7月のことでもあります。その内容は、誕生日とか、子供の結婚、孫の入学等の何かのお祝いのあった場合に応分のお金を自発的にいれるという主旨のものでした。

以上がスマイルボックスの始まりです。

わが北クラブでは全会員に一律で、毎年度の年初に奉仕活動費として1万円を徴収させていただいております。その全てはニココの資金になっています。

当クラブの歴史を遡ると先ほども畑委員長より説明がありましたが2006年まではSAAとニココ委員会は同じ委員会で、ニココ委員会という委員会は存在していませんでした。

2007年よりニココ委員会が独立しての委員会となっています。

2008年まではニココ箱という木の箱が存在し、その箱の中に寄付をしていたそうです。

ニココの支払い方法については、会員から会員へ指名をし、指名された会員がニココ箱に寄付をする流れだったそうです。例えば、新規店舗オープンなどの際に会員がその会員を指名し、指名された会員がニココ箱へ寄付を入れるという流れだったそうです。時には、強制的に支払いをさせることもあったそうで、それが良くないということで、自発的に寄付をする今の方法に変更されたそうです。

山下正司会員がニココ委員長の時には、カエルボックスというボックスを制作し、早退される会員が帰る際にそのボックスに入れるというものもありました。

基本的に例会を早退することは許されてなく、もし早退する場合は幹事(理事会)の承諾が必要です。そこで早退時にニココを支払うことでそれを免除するという役目もあったそうです。

過去のニココの年間出宝額についてですが過去17年間で遡ると、一番集まった年度は昨年2016年中山会長年度で吉永ニココ委員長の212万円でした。17年間の平均が134万円でした。ここ最近では、同好会での出宝などが多くなったせいか、2011年度からは130万円以上の年が多い傾向にあります。

ニココで集めた資金の使い道について

「ニココで集めたお金はどこに行っているのか？」と疑問に思われてらっしゃる新会員さんのためにニココの使い道について説明していきます。

ニココで集めたお金はニココ箱会計でしっかりと管理されており、使い道は奉仕活動と寄付に使用しています。

今年度で申しますと、社会奉仕・青少年奉仕委員会事業で、広島大学病院において子供用の車椅子が少ないというお申し出があり「車椅子2台」を寄贈させて頂いています。また、8月に行いました小さな祈りの影絵展、今月ありました「広島平和マラソン」への寄付などに使用されています。

昨年度で言いますと、社会奉仕委員会のサニービーチキャンプ支援、青少年奉仕委員会の小さな祈りの影絵展のハワイ事業支援、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会の「がんの子どもを守る会」でのクリスマス会の支援、北部子供療育センターへ「すべり台」の寄贈も一部ニココの資金が使われています。

その他で言いますと、タイの小学校へ浄水器設置事業、ネパール大地震義援金、東日本大震災者支援奨学金、広島大学病院ファミリーハウス(小児がんや難病患者の家族が宿泊する施設)にキッズサークル、本棚、絵本、おもちゃなどの寄贈、2014年8月に発生した広島土砂災害の被災者たちの憩い、災害を後世に伝える場とし

て作られた『復興交流館モントラゴン』へ図書を2台寄贈も一部ニココ資金が使用されています。

皆さんから集めたニココの資金の使い道につきましては、理事会で決定し、その都度、会長時間、幹事報告、WEBでの理事会議事録、決算報告書にて説明をしておりますのでそこでもご確認頂けます。

委員会での使用には一切使用しておりませんし、また親睦のための費用にも一切使用されておりません。困っている方への寄付へ使われていますので「喜ばしいことがありましたら、是非、ニココ箱へニココしながら寄付を頂ければと思います。

何かと、出宝金額と総額が目立ってしまいますが、今年度のニココ委員会の方針は、出宝とは会員の慶事や身近な出来事を、愚直に活動している一般会員にも光をあて、仲間意識を共有する重要な仕組みと考えています。

多くの会員を巻き込み、自薦他薦と初心に帰り一件でも多く明るく楽しいエピソードを積極的に披露する事を出宝金額以上に大事に取り組んでおります。

この後、いつでも気軽にニココできる、北クラブ専用ニココ出宝メールのご紹介を、当委員会の岡田会員にお願いしておりますのでご活用下さい。

●●●●●●●●●●国際ロータリー便り●●●●●●●●●●



サム・オオニール国際ロータリー(RI)会長エレクトの急逝により、会長指名委員会から2018-19年度RI会長として選出されていた、バハマ・ニュープロビデンス島のイーストナッソー・ロータリークラブ所属のバリー・ラン氏が、アン・ライズリーRI会長によって9月1日、RI会長エレクトとして宣言されました。

ラン氏は会長として、公共イメージの向上と、ロータリーのインパクトを広げるためのデジタルツールの活用に力を入れたいと考えています。

「ロータリーの使命を支える活動に関心のある人全員が参加できるよう、参加や入会を促進する新しい方法を考えなければなりません」とラン氏。「ロータリーがもっと注目されれば、より多くの人に入会の魅力を伝え、世界中で多くの良いことを実現しているこの組織を支えることができます」

1980年ロータリーに入会。RI理事を経て、現在はロータリー財団管理委員会の副管理委員長を務めています。また、RI研修リーダーと2015-16年度RI会長のエイトも経験しました。

ロータリー最高の賞であるRI超我の奉仕賞のほか、2010年ハイチ地震後のロータリーによる災害救援活動を統率したことにより、多くの人道賞を受賞しています。また、エスター夫人とともに、ロータリー財団のメジャー・ドナー、遺贈友の会会員でもあります。

■出席報告 出席委員会

2017年11月16日(木) 会員数 97名

出席 74名 欠席 23名

来客 2名 ゲスト 1名

10月19日例会 修正後出席率 100%

10月度平均出席率 100%

■来客者紹介 親睦委員会

鶴田 一郎 様(土浦)

吉村 元亨 様(広島城南)

リリー・フラマンドさん(青少年交換受入学生)

■次回例会案内 2017年12月7日(木)

会場 ホテルグランヴィア広島4F悠久の間

卓話 『年次総会 一次年度理事役員選出』

食事 和食